

資源リサイクルレポート 資源集団回収に出す段ボール あなたの出し方は、正しいですか?

●表紙に登場!「西区浅間町上四丁目自治会」 ●りくみの分別講座 ●始末の一品 ●リサイクル川柳 ●RD NEWS



最近よく耳にする環境用語

「SDGs」って何ですか?

最近、企業や団体、自治体などの事業計画などに「SDGs」という言葉を見かけるようになりました。横浜市も政府内閣府による「SDGs未来都市」「自治体SDGsモデル事業」に選定されています。そこで今回は、SDGsについてわかりやすく解説します。

球環境の維持と 世界が存続するための目標

SDGs は、「エスディージーズ」と読みます。Sustainable Development Goals の略で、「持続可能な開発目標」という意味です。あまり聞きなれない言葉ですが、2015年に国連総会で採択された目標で、日本政府も外務省が中

心になって推進しています。

そもそも、SDGsは何かというと、「地球規模で見た時に、このまま世界の自然環境が悪化を続け、貧しい国や貧しい人々が発展から取り残されてしまうと、やがてこの世界は立ち行かなくなってしまう」という危機感を基に制定されています。このような地球規模の危機に対処するためには、経済発展だけを目指

すのではなく、社会・環境・経済の3つの側面から各種の問題の原因に取り組み、世界を変えていかなければなりません。そのための目標が、SDGsということなのです。

SDGsの特徴は、国や民族に関係なく誰にでも該当する目標が設定されており、具体的に行動できるようになっているところです。一方で、目標の数が多

■図1:SDGsの17の目標

SUSTAINABLE GEALS DEVELOPMENT

世界を変えるための17の目標







































12-3

2030年までに小売・消費レベルにおける世界全体の一人当たりの食料の廃棄を半減させ、収穫後損失などの生産・サプライチェーンにおける食品ロスを減少させる。

12-4

2020年までに、合意された国際的な枠組みに従い、製品ライフサイクルを通じ、環境上適正な化学物質やすべての廃棄物の管理を実現し、人の健康や環境への悪影響を最小化するため、化学物質や廃棄物の大気、水、土壌への放出を大幅に削減する。

12-5

2030年までに、廃棄物の発生 防止、削減、再生利用及び再利 用により、廃棄物の発生を大幅 に削減する。

12-8

2030年までに、人々があらゆる場所において、持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようにする。

すぎることと、先進国ではすでに取り組んでいる事柄も多く、結果として関心が 薄いなどの短所もあります。

7 の目標と 169のターゲット

図1を見るとわかるように、SDGs には社会・環境・経済の3分野にわ たって17の目標があります。これは、 2030年までに達成できるように全世 界で目指そうという目標です。さらに各 目標には、より具体的な内容を示した 「ターゲット」と言われる細目も定めら れています。目標の内容を見てみると、 貧困や飢餓、福祉や教育などの発展途 上に関するもの(1~6)があり、続いて エネルギーや経済成長、技術革新から 街づくり、消費生活など、先進国を想 定したもの(7~12)、気候変動、海洋 資源、生態系、平和、国際協力など(13 ~17)のようなグローバルで包括的なも のがあります。

この中で資源リサイクルに関係しているのは、「目標12 つくる責任・つかう責任」です。この目標の具体的な内容を示した11項目のターゲットのうち、特に関係する部分を抜き出したのが**図**2です。12-3は「食品ロスを半減させる」、12-4は「廃棄物の環境への悪影

響を最小限にする」、12-5は「廃棄物の排出量を大幅に削減する」、12-8は「自然と調和したライフスタイルに関する意識を持つようにする」です。

これらの項目は、すでに皆さんが毎日のように行っている燃やすごみの減量やリサイクルできる資源物の分別、地域の環境推進活動などの取り組みなども該当します。先進諸国の中でも環境に関する取り組みが広く社会に浸透している日本では、すでに積極的に取り組んでいる目標も少なくないのです。

S DGs の推進は ビジネスチャンスになる

日本のSDGsの取り組み状況は、2018年度のレポートによる達成度ランキングが157カ国中15位でした。評価が低かったのは、目標5、12、13、14、17で、女性の国会議員が少ないことや男女の給与格差、再生可能エネルギーの割合、漁業資源の管理などが課題として挙げられています。また、世界経済における日本の影響は少なくないため、SDGsに対してより積極的な推進が必要だと言われています。

現在、国内のさまざまな企業や団体がSDGsを事業計画に盛り込むなど、取り組みが拡大しています。特に企業に

とっては、SDGsの各目標は、それを 実現するための活動がビジネスにつな がるため、ビジネスチャンスと捉えられ ています。例えば、貧困や飢餓、福祉 や教育に関する目標は教育や医療ビジ ネス、気候変動の目標には防災関連や 気象・災害予測などの製品やサービス などがビジネスになります。

各目標に関するビジネスの世界市場 規模は、70兆円~800兆円に達する 可能性があるそうです。企業の規模に 関係なく、SDGsをビジネスの視点から 捉えて、事業活動に取り込むために盛 んにセミナーやコンサルティングが行わ れているのです。

横浜市の SDGsの取り組み

横浜市の現在の環境施策の内容は、SDGsの17の目標のうち、13の目標が該当しているそうです。また、「中期4か年計画(2018~2021)」と「中期温暖化対策実行計画」を基にして提案した「"連携"による横浜型『大都市モデル』創出事業」が、政府の「SDGs未来都市」と「自治体SDGsモデル事業」に選定されています。今後は、横浜市もSDGsと連動しながら環境施策を進めていくことになるようです。

資源リサイクルレポート

資源集団回収に出す段ボール あなたの出し方は、正しいですか?

資源集団回収における古紙の回収量は減少していますが、その中で、段ボールの排出量は増加し続けています。 ネット通販などが普及した影響だと考えられますが、その一方で、資源集団回収に間違った出し方を している方が多くなっていますのでご注意ください。

取材協力: 横浜市資源循環局、NPO 法人横浜市集団回収推進部会

正しく分別できていない 段ボールが激増中

2018年春号の本誌で、資源集団回 収による古紙の回収量が減少している ことをご紹介しました。しかし、古紙回 収の内訳を詳しく見ると、実は段ボー ルが占める割合は増え続けています(グ **ラフ1**)。グラフでは重量による割合で 10%弱程度の増加を示していますが、 実は段ボールは新聞や雑誌に比べて軽 いため、物量としてはかなりの増加に なっています。

資源集団回収に段ボールを出す回数 や量が増えている一方で、正しく出され ていないケースも激増しています。写 真1は、リサイクルポート山ノ内に集め られた段ボールですが、よく見ると雑誌 やチラシのほかに、その他の紙に分別 すべきお菓子の箱なども混じっています。 段ボールの正しい出し方は、写真2の ように、箱をつぶして重ね、ひもで束ね る方法です。

実際の資源集団回収の現場では、例 えば写真3のように箱のまま積み上げ てあったり、写真4のように箱の中に 潰した段ボールを突っ込んでいるもの、 写真5のように雑誌や新聞、その他の 紙と一緒に紙袋に詰め込んである場合 も少なくありません。

資源物は、正しく分別されていないと うまくリサイクルできません。皆さんの 段ボールの出し方は手抜きになってい ないでしょうか。もう一度、正しい分別 と出し方の徹底をお願いします。

グラフ1: 段ボールの回収量の推移





写真1:リサイクルポート山ノ内に運ばれた段 ボールの状態



写真2:段ボールの正しい出し方



写真3:箱のまま出された 段ボール



写真4:箱の中に詰め込まれた 段ボール



写真5:未分別のまま紙袋に入 れられた段ボール

表紙に 登場!

西区浅間町上四丁目自治会

今回の表紙に登場していただいたのは、西区の浅間町上四丁目自治会の皆さんです。 町内を通る旧東海道には観光客の姿も見かけます。



今年6月に行われた浅間神社例大祭



旧東海道と八王子道の分岐となる 追分の史跡



近隣の史跡を案内する掲示板



子ども会と一緒に行う町内清掃活動



清掃活動で集められた資源物とごみ

子どもや若い世代が町内行事に積極的に参加

浅間町は、西区の南西端で保土ヶ谷区に接する位置にあります。江戸時代の保土ヶ谷宿のはずれに当たるそうで、町内には旧東海道が通り、旧東海道と八王子道との分岐点である「追分」などの史跡があります。

上四丁目自治会は、301世帯と比較的小さな自治会ですが、各種の町内イベントを通じて、住民の交流が盛んな町内でもあります。地域の中央に位置する追分公園を活動拠点に、浅間神社例大祭や納涼大会などの大きな催事では、ほとんどの住民が参加するほどの盛り上がりを見せるそうです。

また、子育て世代と高齢者との世代間 交流にも取り組んでいます。特に、自治 会と子ども会が一緒に取り組んでいる地 域の清掃活動は、2017年度の神奈川県 美化運動推進功労者表彰を受賞するなど、 高い評価を得ています。

ほかにも、町内主催の防災訓練や楽し くウォーキング、グランドゴルフ大会に も子どもや若い世代がたくさん参加する など、活気あふれる町内です。

小結くん

牛乳パックから再生した紙ひもです。新聞や雑誌を 束ねるときに使えば丸ごとリサイクルできるので手 間と時間が省け、ごみの減量にも貢献します。



「小結くん」はリサイクル 組合の登録商標です。

バラ売り 1巻き(90m) 240円 箱売り 1箱(50巻入り) 11.40

シングルセット

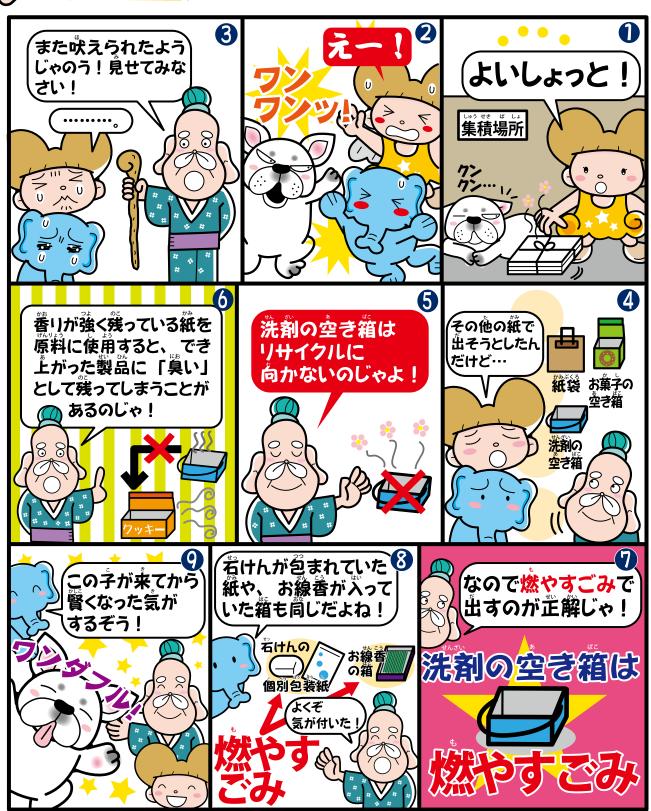
ナット内容:

- ●りくみのトレペ24ロール
- ●りくみのティッシュ 15箱
- ●小結くんお試し巻き (30m)1巻

1セット 3,500円

●お問い合わせ・ご注文……横浜市資源リサイクル事業協同組合 事務局 TEL:045-444-2531 E-mail:mail@recycledesign.or.jp







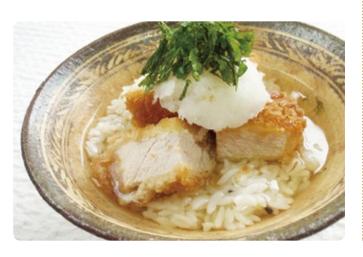
今月の残りもの料理 とんかつ

残ったとんかつは、かつ丼やかつ煮などに料理することが多いと思います。今回は、少し目先を変えて、お茶漬けとお好み焼きにリメイクするレシピをご紹介します。

とんかつのだし茶漬け

材料(2人分)

- ●とんかつ:1枚 ●ご飯:茶碗2杯
- ●だし汁:水200cc、顆粒だし小さじ½、白だし大さじ1
- ●大根おろし:大さじ2 ●しそ(千切り):適量
- ●鍋にだし汁を作っておく。とんかつは軽く温め、8等分に切る。
- ②器にご飯をもり、●をのせる。
- ❸中央に大根おろしとしそをのせ、熱いだし汁をかける。

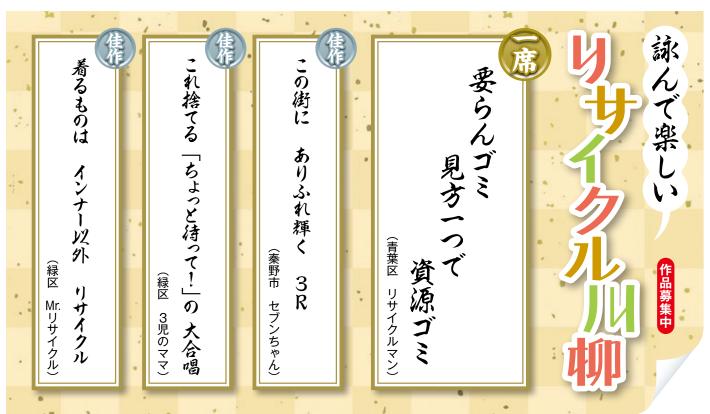


とんかつ入りお好み焼き

材料(1枚分)

- ●とんかつ:½枚 ●キャベツ:100g ●卵:1個 ●桜エビ:大さじ1 ●お好み焼き粉:100g ●水:100cc ●サラダ油:大さじ1 ●とんかつソース・マヨネーズ・青のり:適量
- ①とんかつは1cm角に切り、キャベツは千切りにする。
- ②ボールに粉と水、❶、卵、桜エビを入れてさっくり混ぜる。
- ③フライパンにサラダ油を入れて熱し、②を流し入れ平らに ならす。5分ほど焼いたら裏返して同様に焼く。
- ❹皿に移してソースを塗り、青のりとマヨネーズをかける。





2018年秋号 通券273号 2018年9月25日発行

RD NEWS



横浜型地域貢献企業最上位認定取得

12月2日(日)に環境絵日記展を開催!

リサイクル組合が主催する「環 境絵日記」に、今年もたくさん の子どもたちが取り組んでくれ ました。毎年、横浜市内の小学 校より2万作品を超える応募が あり、今年も続々と環境絵日記 がリサイクル組合の事務局に届 いています。

今年は12月2日(日)に『環境 絵日記2018~環境未来都市から SDG's未来都市・横浜へ~』が開 催されます。毎年恒例となった このイベントには選りすぐり の約600作品が一堂に展示され、 環境にちなんだ体験ブースも多 数出展します。子どもたちの未 来へ向けた思いをぜひ会場で感 じてください。



到着した応募作品

■環境絵日記展2018

時:平成30年12月2日(日) 11:00 ~ 16:00

所:横浜港大さん橋ホール (横浜市中区海岸通1丁目1-4)

お問合せ先:横浜市資源リサイクル事業協同組合 『環境絵日記』係 TEL:045-444-2531



昨年の環境絵日記展の会場の様子

『地産地消産地を巡るバスツアー秋』を開催します!

リサイクル組合・横浜リユー スびんプロジェクトでは、「地 産地消」「リユースびん」「あお みかん」にまつわる場所を訪れ、 現場の生の声と思いを聞くバス ツアー『地産地消産地を巡るバ スツアー秋』を開催します。今 年8月にも同様のツアーを開催 し、参加した皆様からは、日ご ろなかなか目にすることのない、 洗びん工場や高く積み上げられ た空びんの箱、そして金沢区に あるみかん畑に感動したなどの

感想があり、非常に満足度の高 いツアーとなりました。

10月初旬にリサイクル組合の Facebookからツアー申込のご案 内をさせていただきますのでぜ ひご確認ください。



■ツアー概要

ツアー名:『地産地消産地を巡るバスツアー秋』

開催日時:平成30年11月15日(木)9:45~17:00(予定)

集合場所:関内駅付近

定:洗びん工場見学、みかんの収穫体験、地産地消の取 り組みを聞きながらランチ、移動中のバス内では、 横浜市の分別講座、びん商のお仕事解説などを開催

員:抽選20名

参 加 費:1000円(食事代含む)

締め切り:11月1日(木)



横浜リユースびん プロジェクト Facebook

京急百貨店で分別体験ブースを出展

8月7日(火)、上大岡駅に直結 する京急百貨店の5階、ハグクミ パークにおいて『資源とごみの分 別体験』のブースを出展し、合計 43名の来場者数がありました。

当日の分別体験では、香りが強 く残ってしまう洗剤の空き容器や、 化粧品の空きびんなど、皆さんが

分別を間違えやすい品目について 丁寧に解説しました。

リサイクル組合ではブース出展 のほか、分別ルールや分別の目的 について解説する「出前講師」を 実施しています。10名以上お集 まりの際には横浜市内どこでも講 師を派遣いたします。日頃の分別



分別体験ブース

で困ったことやわからないことに も回答させていただきますので、 「出前講師」をご活用ください。

リサイクルデザインのバックナンバーは、 -ムページからもご覧いただけます

http://www.recycledesign.or.jp/rd/

スマホ、タブレットなどはこちらの QRコードからアクセスできます。



リサイクルデザインの発行予定

2018年冬号: 12月25日

2019年春号:3月25日

2019年夏号:6月25日

2019年秋号:9月25日